

令和元年度 第11回 周南市総合教育会議 会議録

- 1日 時 令和2年3月24日（火） 開 会：13時30分
閉 会：14時20分
- 2場 所 周南市岐山通1丁目1番地
周南市役所 庁議室
- 3出席委員 藤井律子市長 中馬好行教育長 松田福美委員 松田敬子委員
片山研治委員 大野泰生委員
- 4事務局 教育部長 教育部次長
- 5出席者 政策推進部長 政策推進部次長 企画課長 生涯学習課長
学校教育課長 人権教育課長 学校給食課長 中央図書館長
文化スポーツ課長 保育幼稚園課課長補佐
- 6書 記 教育政策課（担当係長、主査）
- 7協議事項

順位	件 名
1	令和2年度教育委員会の重点施策について
2	第2期教育大綱の策定について

●事務局

ただ今から、「第11回（令和元年度第2回）周南市総合教育会議」を開会いたします。

それでは、はじめに、会議の主催者であります市長から、開会にあたっての挨拶をお願いいたします。

●市長

皆さん、こんにちは。市長の藤井律子でございます。

本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

皆様方には、常日頃から、本市の教育の充実、発展のためにお力添えを頂いておりますことを深く感謝いたします。ありがとうございます。

この度の3月市議会定例会において、第2次まちづくり総合計画後期基本計画の初年度の事業等を盛り込んだ令和2年度の当初予算のご承認をいただいたところであります。私にとりまして初めての本格予算であります。

教育の分野におきましても、コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりの推進や、小学校普通教室空調設備整備事業や学校 ICT 環境整備事業などの新規拡充事業等に積極的に取り組むことにより、質の高い学びの環境をつくり、未来を担う子ども達が心豊かにたくましく生きていくための「生き抜く力」を育むことに努めてまいりたいと思っております。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、市では新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して、市民の皆様への情報発信や注意喚起を行うとともに、市が主催するイベント等の中止、小・中学校の臨時休業、動物園や図書

館などの休館等の措置を行い、感染拡大防止に努めているところでございます。

さて、本日の会議でございますが、新型コロナウイルスの拡大防止のための一環といたしまして、会議時間を短縮させていただきたいと思っております。来年度における教育行政の重点施策の取組と第2次教育大綱の策定の議題につきまして、活発な協議をお願いするものでございます。

本日はお忙しい中、お越しいただいたにも関わらず短時間で申し訳ないですけれども、どうぞご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

●事務局

ありがとうございました。

会議資料等はお手元にお配りしているとおりです。

それではこれからの議事の進行は、周南市総合教育会議設置要綱の規定によりまして、市長が行います。市長よろしくようお願いいたします。

1	令和2年度教育委員会の重点施策について
---	---------------------

●市長

それでは、早速、次第に沿って、進めさせていただきます。

では議題1、「令和2年度教育委員会の重点施策について」です。

本日の会議資料「令和2年度周南市教育委員会の重点施策について」をお願いします。

周南市教育委員会の重点施策として掲げております17の事業に関しましては、いずれも「教育大綱」の基本理念を具現化するものとして、新たな取組を開始するもの、また、効果的で効率的な教育行政をさらに推進するものでございます。

これらの重点施策について、何かご意見あればお願いいたします。

松田福美委員、いかがでしょうか。

●松田福美委員

それぞれの施策に沿った予算がしっかり組まれていると非常に感心しております。ありがたいことだと思います。

特に、1ページの小学校普通教室空調設備整備事業、これは夢でございましたので、このような形で進んでいくことを大変うれしく思います。

それから学校教育として、3ページの英語教育推進事業における外国指導助手を15名に増員することは、子ども達にとって大変ありがたいことであり、外国語指導助手が増えることによって、授業だけでなく日常の活動にも活用できるのではないかと考えました。このような形で英語に接することができるというのは、子ども達にとって大事なことだと考えております。

それから学校業務支援配置事業につきましても拡充されておりますので、さらに教職員の働き方が改善されていくと思います。

●市長

ありがとうございました。

大野委員、いかがでしょうか。

●大野委員

小学校普通教室の空調設備の整備について、令和 2 年度に PFI 事業で市内の全校に設置していただけるということで、非常に喜んでおります。

風の影響を受けやすい音楽室や理科室は、利用率も高く、また、夏場に閉め切って授業を実施している現場をいくつか目にしておりますので、この事業に引き続いて、そうしたところを検討していただければありがたいと思っております。

また、3 ページの学校 ICT 環境推進事業については、これからの社会はパソコンがあることが面白いのではなく、社会全体として ICT があることが当たり前となり、それを用いながら日常の生活をどう工夫していくかという時代となるので、学校の中で ICT を使いながら学べる環境を、これから拡充していくことが大事だと思っております。

さらに、大型ディスプレイを全ての普通教室に配備することと、高速大容量の校内ネットワークの整備に着手されているということは、非常にありがたいと思っております。これから 4G や 5G などの時代になると、高速ネットワークが配備されていることが非常に大事だと思います。

これにプラスしてお願いしたいのは、国で言われている生徒一人一台の端末整備について、今後、検討いただければと思います。

●市長

ありがとうございました。

松田敬子委員、いかがでしょうか。

●松田敬子委員

3 ページのコミュニティ・スクール事業について、周南市では地域連携教育アドバイザーに加えて、独自に周南市コミュニティ・スクールアドバイザーを配置し、実効性のある学校運営協議会になるように努めていくと聞きました。地域においてコミュニティ・スクールはとても大事なものであり、また、それに対して本格的にアドバイザーがいることで、より実効性のあるものになるのではないかと考えております。

学校業務支援員配置事業については、教職員が朝 7 時ぐらいから学校で仕事をする姿を見ることがありますので、業務支援員の配置が来年度は 26 校に拡充することになりますが、今後、色々な現状を踏まえ、少しでも多くなればと思っております。

●市長

ありがとうございました。

片山委員、いかがでしょうか。

●片山委員

予算については、厳しい財政状況の中、学校施設の安心安全の部分などの環境を整えていただいていることを大変ありがたいと思っております。

英語教育については、外国語指導助手を 11 名から 15 名へ増員したことは大変ありがたいと思います。せっかくですから、外国語指導助手と教職員の協力体制をより強化し、それが活かされることで子ども達にとって外国語が身近になり、より好きになれるようにできれば良いのではないかと思います。

それと地域によって環境が違うかもしれませんが、地域の中でも外国語を話せる方がおられると聞いたことがありますので、そのような方がボランティアとして読み聞かせ等で力を発揮できるような環境を整えることができれば、さらに教育力が上がるのではないかと思います。

それから、ICT については、ソフトなどは毎年変わっていくので、その環境も整えなくてはならないということと、使われる先生方の研修をよりの確に実施していくことが必要だと考えています。

また、コミュニティ・スクールについては、各学校にかなり定着し、地域と色々な連携を取っていると思います。また、周南市はコンビナートのまちで、素晴らしい企業があり、また大学や高等専門学校もありますので、各地域でそれらとの連携をもっと進化させることができると感じております。

●市長

その他にいかがでしょうか。

●松田福美委員

これまで、小学校改修事業には多くの予算措置をしていただいておりますが、令和 2 年度は減額しているのはどういう経緯なのでしょう。来年度に限ってのことなのか、見通しがあるのでしょうか。

●教育長

これまで、中学校空調設備の整備を実施し、同時に中学校での改修工事が実施できないことから、小学校の改修を重点的に取り組んでまいりました。令和 2 年度は、小学校に空調設備を整備いたしますので、中学校と同様、トイレ改修などが同時に実施できなくなるということです。

こうしたことから、小学校の予算は減額しておりますが、小学校の空調設備の整備を実施している間に中学校の改修工事を実施していこうということで、段階的に考えている結果が、令和 2 年度の予算となっております。令和 3 年度以降は、バランスを取りながら改善が必要な所から実施していきたいと考えております。

●松田福美委員

色々な計画に基づいて進めているということは承知しながら、数字的に見て疑問をもちましたのでお聞きしました。そのようにバランスをとりながら行っていくことが大切だと思います。見通しが分かって安心いたしました。

●市長

本日いただきました様々な視点からのご意見を十分にしん酌させていただき、今後も、一層実効性のある事業進展に、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

2	第2期教育大綱について
---	-------------

●市長

それでは、次の協議事項に移ります。

議題2「第2期教育大綱の策定について」であります。

事務局から、まずは、説明をお願いします。

●事務局

それでは、第2期教育大綱（案）の内容につきましてご説明いたします。

表紙を開いていただいてすぐの「目次」をご覧ください。

第2期教育大綱（案）ですが、現教育大綱同様に、5章の構成といたしておりまして、第1章で策定の趣旨等を、第2章で周南市の教育環境について、第3章で基本理念等を、第4章で5年間の重点事業や成果指標等の施策の展開を、そして、第5章で大綱の理念の推進に向けた取組について、最後に、この第2期大綱では、「用語解説」を新たに加えて、編さんしたものであります。

次のページをお願いいたします。「第1章 教育大綱の策定について」であります。

ここでは、現教育大綱の策定にいたる経緯と教育大綱の位置づけについて、お示ししております。

次のページをお願いいたします。

「第2期教育大綱の策定の趣旨」と「第2期教育大綱の期間」についてですが、この度、策定された「第2次まちづくり総合計画 後期基本計画」との整合を図りながら策定すること、その期間は5年間である旨をお示ししております。

次に、3ページから6ページにかけてお示ししております、「周南市の教育を取り巻く状況」についてでございますが、子どもの学力や生活・学習習慣、体力等の状況について、教育に関する各種の調査結果を用いて本市の教育を取り巻く状況を掲載しております。

次に、7ページをお願いいたします。

「第3章 基本理念・基本方針」であります。第2期教育大綱の重要な骨子となる章でありますことから、昨年10月の総合教育会議で重点的な協議をいただき、新たな教育大綱の基本理念と5つの基本方針を、まとめて掲載することで、より市民の皆様にご理解いただきやすいものとして編集したものであります。

それでは、11ページをお願いいたします。

「第4章 施策の展開」でございます。この章では、まず10ページで、「基本理念」や「5つの基本方針」を再掲し、それぞれの基本方針を具現化するための「17の推進方向」をお示ししております。

それでは、それぞれの推進方向の概略についてご説明いたします。

12ページをご覧ください。

「推進方向1 道徳教育の充実」では、「道徳的実践力を高める道徳の授業づくりの推進」「教育研究センターによる道徳の授業づくり研修会の実施」等により、「ふるさと周南」に誇りと愛着をもつ心豊かな子どもの育成に努めます。

15ページの「推進方向2 幼児教育の充実」では、「豊かな感性を育む環境づくり」「幼児教育と小学校教育の円滑な接続」等により、生活や遊びを通して人格形成の基礎を培うとともに、小学校以降の生活や学習につながる基盤づくりに努めます。

18ページの「推進方向3 確かな学力の育成」では、「一人ひとりニーズに応じた指導・支援の充実」「ICT機器を活用した情報活用能力の育成」など様々な重点事業を掲げておりますが、個に応じた学びを保障するとともに、知的好奇心の高揚を図り、また他者と協働しながら学びの質や深まりを追求する授業づくりを進め、児童生徒の学力の向上に取り組んでまいります。

23ページの「推進方向4 健やかな体の育成」では、全国平均と比して下回る傾向のある体力について、「体力向上と運動習慣の定着に向けた取組の推進」「生涯スポーツによる地域づくりの推進」などを掲げ、学校体育の充実とともに、生涯にわたって健康を維持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質や能力の育成を図ってまいります。

25ページの「推進方向5 コミュニティ・スクールの充実」では、周南市コミュニティ・スクールアドバイザー等の巡回による「学校運営協議会の運営支援の推進」、「地域と連携した学校・園づくりの推進」等により、地域とともにある学校づくりに積極的に取り組んでまいります。

27ページの「推進方向6 地域学校協働活動の充実」では、「地域と学校をつなぐコーディネート機能の拡充」「放課後子供教室の拡充」などにより、地域学校協働活動による「学校を核とした地域づくり」に取り組んでまいります。

29ページの「推進方向7 青少年の健全育成」では、「ボランティア・地域活動参加への支援」「多様な体験プログラムの提供」「情報リテラシー教育の実施」により、多様な体験活動が経験できる体制を整備するとともに、有害環境から守るための取組を進めてまいります。

31ページの「推進方向8 児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の人材育成」では、「組織的・開発的生徒指導体制の充実」「学校における働き方改革の推進」などにより、引き続き、いじめ問題などの課題克服、不登校児童生徒に対する支援の強化を図るとともに、ワーク・

ライフ・バランスを推進しながら、教員が本来担うべき業務に集中できる環境づくりに努めてまいります。

35ページの「推進方向9 望ましい教育環境の充実・整備」では、「小学校空調設備の整備」「学校ICT教育環境の充実」などにより、ICT環境の整備や快適な学習環境の実現にむけた整備を実施していきます。

39ページの「推進方向10 安心・安全な学校給食の提供」では、引き続き、学校給食における衛生管理の徹底や安全な食材の確保、また、地産地消の推進や魅力ある献立づくりを中心とした食育のさらなる充実を図るとともに、新たに学校給食費管理システムを導入することで、教職員の負担軽減と保護者の利便性向上に努めてまいります。

42ページの「推進方向11 生涯学習活動の推進」では、「地域における生涯学習活動の支援」「自主的な学習活動の促進」により、市民の誰もが「いつでも」「どこでも」自主的・継続的な生涯学習活動ができるよう支援してまいります。

44ページの「推進方向12 生涯にわたり、スポーツ活動に親しむ環境の整備」では、「スポーツ活動の推進」「施設の維持管理」により、生涯にわたり、スポーツ活動に親しむことができる機会の提供や、安全で快適に利用できるようにスポーツ施設の維持管理に取り組みます。

46ページの「推進方向13 文化芸術活動の推進」では、「芸術鑑賞の機会充実」「市民の文化芸術活動の支援」「文化拠点施設の維持管理」により、芸術性を考慮した幅広い文化芸術に触れる機会の拡充、市民の文化芸術活動の支援などに取り組みます。

48ページの「推進方向14 文化財の保護と活用」では、「文化財の適切な保護の推進」「文化財の活用促進」「渡来ツルの増羽に向けた取組の促進」により、地域の特色ある歴史を伝える文化財の保護と活用を推進し、ふるさとへの誇りと愛着を高めてまいります。

50ページの「推進方向15 読書が育むひとづくり・まちづくり」では、「図書館資料の収集と提供」「読書環境の整備」などにより、利用者ニーズに対応した新鮮で広範囲にわたる資料の収集と提供、「知の広場」としてにぎわいと交流の場として確立された駅前図書館とその他図書館との連携を図りながら、利用者満足度の高い図書館サービスの提供に努めてまいります。

52ページの「推進方向16 人権教育の推進」では、「学校・園における人権教育の推進」「地域における人権意識向上に向けた取組の推進」などにより、「市民一人ひとりの人権が尊重されるまちの実現」を図ってまいります。

最後に54ページの「推進方向17 まちづくりを担うひとづくり」では、「学びの成果を発揮する機会の拡充」「地域学校協働活動に参画する機会の拡充」を重点事業とし、市民一人ひとりが学びを通じて自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることを支援するため、学びの成果を学校や地域で発揮する機会の拡充に取り組んでまいります。

56ページをお願いいたします。

「第5章 教育大綱の推進に向けて」では、「地域づくり」という観点から他の地域振興等の関連行政とあわせて市長部局において一元的に所掌しております文化・スポーツ行政等、教育行政は多様な側面を有しており、教育委員会をはじめ、市長部局との連携が重要となっております。

こうしたことから、周南教育における「不易と流行」を見極め、効果的で効率的な教育行政の着実な推進のために、改めて本章で関係部局や関係機関との連携について記載するとともに、各施策の進捗状況の点検と評価を適切に行い、これを報告・公表することで、PDCAサイクルによる継続的な事業改善につなげ、周南教育のより一層の振興を図ることをお示ししているところであります。

最後に、57ページからは、用語説明を掲載しています。

以上で説明を終わります。

●市長

ありがとうございました。

教育長から補足ありましたらお願いします。

●教育長

第2作目となる新たな教育大綱が、こうして出来上がるわけです。これに基づいて、これから5年間大綱の理念を具現化するため、私達は教育行政に取り組んでいくわけですが、今回のコロナウイルスのことを考えても何よりも大切なことは、子どもにとって何を成していくことが一番大事なのか、子どもにとって何を成すことが最も大事なことか、このことを判断基準として常に明確に持って、これからも日々、教育行政に携わっていく。そのことを改めて強くしたところでございます。

今後ともどうぞ皆様、宜しくお願い致します。

●市長

ありがとうございました。

片山委員、いかがでしょうか。

●片山委員

教育長が言われたように、問題になっている新型コロナウイルスの影響により、子ども達が学校に来られない環境が、全国あるいは世界中で起こっています。このような時に、それぞれの地域で、子ども達に何をしていけばいいかということ、とても考えさせられました。

こうした中で、次期大綱で「生き抜く力」が基本理念に記載されました。子ども達は、やはり親が守って、地域が守ってということはもちろんのことですが、子ども達自らがどうしたらこの場をやり抜けるか、そのような行動をとれる力が必要ではないかと思えます。

●市長

ありがとうございました。

松田敬子委員、いかがでしょうか。

●松田敬子委員

今回、巻末に用語解説が入ったことにより、とても理解しやすくなったと感じました。

また、54ページの「まちづくりを担うひとづくり」について、地域で人づくりがきちんとできていると、そこで育つ子ども達にはとても良い影響があるのではないかと思います。そのためには、地域づくり活動の拠点である市民センターにおいて、様々な活動が出来るようにきめ細やかな指導をしていくことが重要になると思います。

熊毛地区では高齢化が進み、地域を担う人づくりが難しくなっており、学校運営協議会でもご高齢の方が積極的に活動しておられます。やはり「次のひとづくり」が大事ではないかと思いました。

●市長

ありがとうございました。

大野委員、いかがでしょうか。

●大野委員

第二章の「周南市の教育を取り巻く状況」で、現在の課題が非常にはっきりしており、その課題に対して何をしていくかということが、その後が続いており、非常にわかりやすくまとめられていると思います。読んでいて、納得のいく、そのような大綱だと思います。

特に素晴らしいと思ったのは、子どもが生まれてから中学校を卒業するまでの15年間ということに、しっかりと視点を合わせていること。それに加えて、生涯教育としての視点がバランスよく配置されている、という印象を受けました。また、行政と地域の協働で、行政が下支えをしますよという視点でまとめられているように感じました。市民として地域を支えていく、行政等がバックアップして、しっかり後押しする形で頑張ってくださいよと、そういうメッセージがこの中からも聞こえるような感じがしています。

是非この大綱の基で進めていただければと思います。

●市長

ありがとうございました。

松田福美委員、いかがでしょうか。

●松田福美委員

前回の総合教育会議で議論し、このような形になった時に「子どもの夢に寄り添い『生き抜く力』を育む 周南の教育」という基本理念は素晴らしいと思いました。

生きる力と生き抜く力。生きる力については、これまで学校教育でも文部科学省でも進めており、色々な形で学力をつけたり、心の教育をしてきました。これから変化の激しい社会に出て、自分の人生を歩む子ども達にとって必要なのは、「生き抜く力」なのだと思います。

また、「生き抜く力」とは何かと考えたときに、やはりそれぞれの考えがあるのではないかと思います。手を出すこともいいけれども、手を出しすぎることもいけないよと。子育てでは豊かな心を育てるために愛情をいっぱい注ぐことも大事ですが、大きくなるに従って乗り越えていく力も付けなくてはならない。その辺りは、これからみんなで話し合いながら、子どもの考えも聞き、イメージが語り合える場があることで、より良い教育につながるのではないかと思います。

また、「不易」と「流行」は常に言われていますが、ICTのように新しいことへのチャレンジは、環境から入ることが多いので、そうした環境整備をしていただくというのはとても大事なことだと思います。

新型コロナウイルスの影響で学校に来られない子ども達が、インターネットを駆使し、家庭で色々なことをやっている地域もあると聞きます。そうしたことを目の当たりにすると、そのような時代に子ども達は進んで行くので、その下支えを計画的にやっていく必要があると改めて感じました。

そうした意味で、新しい大綱は取り組むべき柱をきちんと出し、取り組んでいくと記載されていることが大変素晴らしいと思います。

また、前回の総合教育会議と違うと思ったのは、それぞれの推進方向のこれまでの取組と課題ということが記載されたことにより、これまでの積み重ねからを評価し、成果・課題を洗い出したうえで今後の施策がとられるという流れになっていることが非常に良いと思いました。

これを市長と教育委員会で共有できていることが重要であり、これから取り組むための具体的な方針として、また、評価も行っていけると思っています。

さらに、5年という期間でとらえたときに、小学校普通教室空調設備の整備はすぐに達成してしまうので、その取組の速さに感動しながら、小学校でも専科体制が取られていく状況であることから、それを専門的に実施する特別教室にも空調設備は必要なので、環境整備として次の目標にしていくことができれば良いのではないかと思います。

●市長

ありがとうございます。

前回の総合教育会議の場で「生き抜く力」について、議論を深めた結果として、このような大綱ができたことに大変感謝しております。

前回の総合教育会議の後に、幼稚園・保育園関係の会議の場で「生きる力」や「生き抜く力」についてお話したところ、その会議の場では「生き抜く力」という言葉が多く用いられました。

このことは、言葉がその方向性を示すことを強く表しているものであり、これからの周南市の目指す教育というものがわかりやすくなっているのではないかと思います。

●教育長

先ほどからコロナウイルスのお話が出ておりますけれども、何が起こるか分からない時代に、これから子ども達はあらゆる変化に対応していかなければなりません。

困難を乗り越えていくことは、自らためだけでなく、社会のためでもあります。チャレンジ精神や逆境を乗り越えていく力は、まさに今求められている力なのではないかと改めて感じました。

もう一件、松田福美委員がお話しされましたが、今回、コロナウイルスの影響により休業措置が取られた中で、もし一人一台 ICT 端末が配備されていれば、担任と子ども達との間で授業のやり取りが可能となります。まさに時代はその環境を求めており、やらざるを得ない時代に来ていると思います。

こうしたことから ICT というのは非常に重要なものとなると改めて思いました。

●市長

その他、御意見等ございませんでしょうか。

●松田敬子委員

学校訪問の際に、学校施設が老朽化し、危険な箇所をできる範囲で修繕等の措置をしているのを目の当たりにすると、やはり抜本的な修繕が必要なのではないかと思いました。それにはやはり予算が伴いますので、今後、長寿命化計画を策定する中で各学校の意見を聞き、計画的な予算のもとで修繕を実施することにより、学習環境が素晴らしいものになっていくのではないかと思いました。よろしく申し上げます。

●市長

その他、御意見等ございませんでしょうか。

●大野委員

コミュニティ・スクールで一番感じるのは、高齢化がすごく身近な課題になってきていることです。現在、地域を支えてくださっている方は団塊世代の方が非常に多く、そろそろ一線を引きたいと思われているという話を聞きます。しかし、その後、誰がその立場を引き継いでいくかという時に、長く働く時代になってきていることから、次の世代がそのような場に出てきづらい状況となっております。

こうした状況で、地域を支えていく次の人材がどのように地域と関わっていくのかが、これからの検討課題だと思っています。

●市長

その他、御意見等ございませんでしょうか。

●片山委員

まちづくりを担う人づくりということで、私も高齢化が進んでいる鹿野で3年間を経て、地域の夢プランの策定に携わりました。ただし、プランを作っても、実施していくのは誰なのかということになると、その辺のところでは難しいところがあります。

そのような人が地域にいるのかと言うと、なかなかすぐにはいないので、他の地域からきてもらったり、そういう人たちを育てていく必要があります。そのためには、自分が生まれ育った地域ではないところに移り住んでも、地域のことを考える人になってもらうための教育が必要だと思います。

また、周南地域は化学コンビナートや製造関係の素晴らしい技術を持つ企業がある一方、大学や高専もあるので、地域がそのような機関との連携をより深めることで、地域の人づくりも進められるのではないかと感じました。

●市長

短い時間でありますけれども、貴重な意見、ご提言を頂くことができました。頂いた提言を踏まえて、第２期教育大綱の修正に関しましては、事務局の方で責任をもって行います。その後、私が確認して、最終的に決定したいと考えておりますので、ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

これまでご尽力いただいたことで、今後５年間の本市の教育の進むべき方向性、そして施策等を総合的に示した新たな指針について、皆様と意思を一つにした第２期教育大綱が完成したと思っております。この第２期教育大綱につきましては、市広報やホームページ等でも市民の皆様にも周知をしております。

先ほどから何度も出ましたけれども、基本理念「子どもの夢に寄り添いながら子ども達の『生き抜く力』」を皆様と一緒に育んでいきたいと思っております。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今後の本市の更なる充実発展に向け、皆様のご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

今日はめでたいことに、八代のツル 18 羽が一緒になって北帰行したそうでもあります。もし残っていたら帰り道を知らないツルもいたので、安心したところです。このツル達にも「生き抜く力」が備わっていたのだと感じました。

本当に本日はありがとうございました。事務局の方へお返しします。

●事務局

本日は、真摯なご協議をいただきありがとうございました。これをベースに大綱の策定をしっかりと進めていきたいと思っております。

それでは、以上をもちまして「第 11 回（令和 2 年度第 2 回）周南市総合教育会議」を終了いたします。